

阿品台中学校 創立 40 周年を前に

～ 40年前の学校はどんな姿だったのだろうか? ～

大規模改修工事に伴い、書類等を整理していたら、たくさんの写真が出てきました。今では、大きく茂っている樹木も、当時のPTAの緑化活動として、一本一本植えられたのだと思います。新しくできた学校に対する想いが伝わってきます。

○ 正門編

体育館は、現在と同じように白を基調とし、教室棟の渡り廊下と同じ色のグレーのストライプが入っていました。



今は巨大に成長し、登下校の際の日陰を作ってくれている街路樹もこんなに細く小さかったようです。

正門横は、今と違ってさつきで「中」の文字を作られたようです。



これを見ると、現在の歩道の植え込みはつながっていますが、当時は現在の道路の反対側と同じように点在していたことが分かります。

○ 体育館前・グラウンド編



樹は大きく成長していますが、石はあいも変わらずそこに鎮座し、造形はそのままの姿です。

やしの樹はこんなに生えていたのですね。今残るのは2本のみです。



1号館前は、貝塚は今と同じ大きさですが、横のコニファーは、30cm程度の大きさでした。



桜を植えられたばかりの時は、こんな景色だったんですね。アベリアも杭で保護されていました。

ここがどこか分かりますか?現在はポプラが茂ってフェンスも見えなくなっていますが、東南の砂場の付近です。

